

製品名: c-Kit (8Y9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08862**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,IF-P 1:500-1:2000
分子量	110kDa

抗原情報

遺伝子名	KIT
別名	CD117; EC 2.7.10.1; Mast/stem cell growth factor receptor precursor; SCFR; SL; c-kit; kinase Kit; C Kit; SCF Receptor;
遺伝子 ID	3815.0
SwissProt ID	P10721
免疫原	ヒト c-Kit の組み換えタンパク質

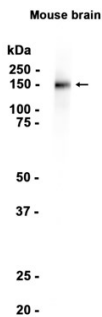
背景

KITは、プロトオンコジーン c-kit のヒト相同遺伝子をコードしています。c-kitは、ネコ肉腫ウイルスのオンコジーン v-kit の細胞相同遺伝子として初めて同定されました。KITは、MGF（マスト細胞増殖因子、幹細胞因子とも呼ばれる）の3型膜貫通受容体です。KITの変異は、消化管間質腫瘍、マスト細胞疾患、急性骨髄性白血病、およびまだら症に関連しています。サイトカイン KITLG/SCFの細胞表面受容体として機能するチロシンタンパク質キナーゼは、細胞の生存と増殖、造血、幹細胞の維持、配偶子形成、マスト細胞の発達、遊走と機能、およびメラニン形成の調節に重要な役割を果たしています。KITLG/SCFの結合に反応して、KITはいくつかのシグナル伝達経路を活性化することができます。PIK3R1、PLCG1、SH2B2/APS、CBLをリン酸化します。ホスファチジルイノシトール3キナーゼの調節サブユニットであるPIK3R1をリン酸化することで、AKT1シグナル伝達経路を活性化します。活性化KITはGRB2を介してシグナル伝達を行い、RAS、RAF1、MAPキナーゼMAPK1/ERK2および/またはMAPK3/ERK1を活性化します。STATファミリーメンバーであるSTAT1、STAT3、STAT5A、STAT5Bの活性化を促進します。PLCG1の活性化は、細胞シグナル伝達分子であるジアシルグリセロールおよびイノシトール1,4,5-トリスリン酸の生成につながります。KITシグナル伝達は、タンパク質ホスファターゼ、および受容体の急速な内部移行と分解によって調節されます。活性化KITは、タンパク質ホスファターゼPTPN6/SHP-1およびPTPRU、ならびに転写因子STAT1、STAT3、STAT5A、STAT5Bのリン酸化を促進します。PIK3R1、CBL、CRK（アイソフォームCrk-II）、LYN、MAPK1/ERK2および/またはMAPK3/ERK1、PLCG1、SRC、SHC1のリン酸化を促進します。

研究分野

免疫学

画像データ



c-Kit (8Y9) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。